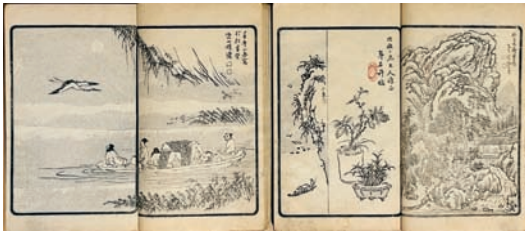




②田能村直入 印譜  
 20丁 実押120印  
 石田忘軒（加賀の南画家、茶人）の手書題簽。  
 14,000円



①汲古山泉 映入乾坤  
 中国画人山水縮図集52図  
 田能村直入  
 鉄斎、易堂他序文  
 ヤケンシ 印  
 二〇、〇〇〇円



④漢画小苑 一集・二集 二冊  
 矢野晋六編 明治13年 明清諸名家山水等文人画縮摸。  
 6,000円



③山本梅荘（半邨） 肉筆小画帖  
 愛知県鶴ヶ崎生。三谷雪庵について南画を学び、中国人劉冷窓に漢詩漢学を学ぶ。  
 26,000円



⑦書画詩文大家一覽  
 52×38糎 清運堂三浦清吉編  
 明治15年  
 一部を除き東京住、人名の上に町名入。  
 6,000円



⑥新撰古今書画人名大全  
 袖珍本 袋付 目下部鳴鶴、岡千仞、巖谷一六他題字  
 藤堂俊雲題画  
 高橋白山序文 明治17年  
 3,000円



⑤口嗜小史 上下一冊 西田春耕著  
 明治24年 華山、椿山、竹本石亭、森春濤など親交のあった画家や文人らの好物とそれに纏わる逸話。華山が好んだのは醤油をつけた焼きおにぎり。  
 4,000円



⑨経詩文講義筆記 第二集  
 詩選講義、石川鴻斎文、森春濤講義他 風文館 前田黙鳳発行  
 六〇〇〇円



⑧孝経發揮  
 津阪東陽 孝経注釈書  
 文政九年新刊 有造館藏版  
 五〇〇〇円



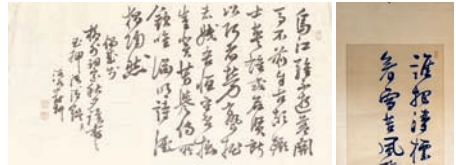
⑪蘭林詩鈔 伊藤蘭林(土佐の佐川名教館教授)漢詩集 表紙イタミ補修、頁下部にも部分的補修 シミ、虫損 題簽欠 明治14年 山下蔵書印(山下重民旧蔵) 8,000円



⑩写本 煙茶独話 草場佩川(佐賀藩多久領出身の儒者)述 克茶翁他茶の湯の逸話集、二十一則 35丁 65,000円



⑬紅葉山房詩鈔 大田稻香(山口生の儒者、砲術家 萩藩学天堂教授)漢詩集 虫損補修有 八、五〇〇円



⑫中村淡水書幅とまくり 大津南比良生の書家、漢詩人 一幅(40×178糎)と一枚(24×46糎) イタミ 5,000円

⑭藤澤黄坡 短冊 藤澤南岳次男、漢学者、関西大学名誉教授 四、〇〇〇円

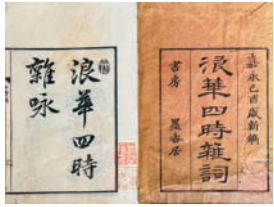
⑮水谷奥嶺 短冊 水谷女学校や多治見工業高校等の設立に尽力した美濃の教育者、漢詩人 三、五〇〇円



⑯水谷奥嶺 上下 水越耕南(名は成章、神戸生の漢詩人、清国文人と交流した)漢詩集 明治14年 2冊 頁角ヤブレ他虫損補修有 清国王治梅、衛鏗生、錫恩など題字・画。 一八、〇〇〇円

⑰芳野金陵 まくり 24×68糎 小文間村(現茨城県取手市)生の儒学者 幕府御儒者となる。 五、〇〇〇円

⑱館林 松崎常春 まくり 25×55糎 松崎常春は不詳ながら、展観会主の記録などにも有、地元の医師で文人、風流人と思われる。朱筆添削入。 三、〇〇〇円



⑳浪華四時雜詞 藤沢東(甫、南岳の父)編 墨香居蔵版 嘉永2年 巻頭見返し部補修、頁シミ有。 五、五〇〇円



㉑藤沢東(甫)まくり 30×100糎 虫損補修有 3,500円



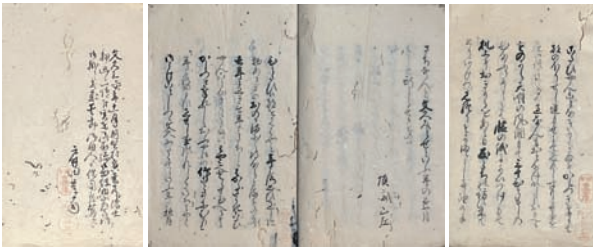
⑲写本 蘆の下根

伊達吉村(仙台藩5代藩主)述の大名に嫁いだ娘に与えた訓戒、蘆の下根6丁。その後、畑中多忠・藤原盛雄述歌入紀行文22丁、巻末に安永六年三月二十五日江戸御参勤御供御道中名所可書記蒙仰。  
 13,000円



⑳観光紀游 一卷・三巻 二冊

岡千仞中国紀行日記 田中蛇湖(千葉の俳人)旧蔵印有 一卷シミ有、題簽欠 一卷(航滬日記・蘇杭日記)三巻(滬上再記・越南日記)明治19年  
 7,000円



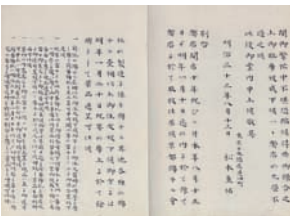
㉑写本 狂歌蓮の杖

幕臣内山氏の養子となり、関東取締出役をつとめた狂歌師長楽園山左(内山左一郎)の京登り歌入紀行文。長者園萩雄の高弟。頂山人とも号した。文久三年写 50丁 虫損  
 28,000円



㉒写本 蕉門頭陀物語

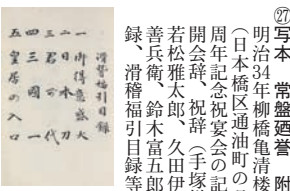
建部綾足述の芭蕉、その門人の逸話集19丁 巻頭に「時中」「藏書」印記 序跋文無、本文のみ シミ、イタミ有  
 2,000円



㉓静松園 守田寶丹 まくり 30×108㎝  
 薬屋寶丹九代目守田治兵衛。特徴ある書体は「宝丹流文字」と呼ばれ、他の店の広告にも筆をふるった。  
 一四、〇〇〇円



㉔大判一枚刷 茂呂何丸「花の手婦利」帰路 60×128㎝ 文政7年、京都二条家から「俳諧奉行職御代官」のお墨付きを受領する為に上京した際の紀行文「花の手婦利」の帰路一枚刷。板取から北陸街道経由で高田へ。北国街道を上って善光寺、草津や伊香保の温泉を楽しみながら熊谷、上尾に戻る。シミ、イタミ。  
 一三、〇〇〇円



㉕写本 常盤廻誉 附詠草 二冊

明治34年柳橋亀清樓にて行われた松本商店(日本橋区油堀町の呉服太物金巾卸業)20周年記念祝宴会の記録 書家の金子鳥嶺筆 開会辞、祝辞(手塚鎌五郎、海老澤為次郎、若松雅太郎、久田伊左衛門等)電報(安盛善兵衛、鈴木富五郎、南為太郎他)景品目録、滑稽福引目録等。  
 一〇、〇〇〇円

